

第 6 回 阿佐谷北東エリアまちづくり協議会

開催日時；2026 年 1 月 27 日（火）15 時～17 時

開催場所；阿佐谷地域区民センター 2 階 第 1 集会室

議事次第

1. 開会

2. 出席者紹介 （傍聴者の紹介）

3. 挨拶

4. 報告事項

- | | |
|----------------------|------------|
| （1）前回議事録 | （配布資料 2） |
| （2）あさがやまちづくりセッションの報告 | （配布資料 3-1） |
| （3）すぎなみボイスの報告 | （配布資料 3-2） |

5. 協議事項

- | | |
|-----------------|------------|
| （1）未来ビジョン素案について | |
| ・取組の柱に関する意見の報告 | （配布資料 4-1） |
| ・未来ビジョン素案（冊子） | （配布資料 4-2） |
| （2）今後の進め方について | （配布資料 5） |
| （3）その他 | |

6. 閉会・挨拶

以上

阿佐谷北東エリアまちづくり協議会 第 5 回	
日 時	2025 年（令和 7 年）10 月 27 日（水）15 時～16 時 15 分
場 所	阿佐谷地域区民センター 2 階 第 1 集会室
出席者 （会員の 所属）	阿佐谷新進会商店街振興組合、阿佐谷北一丁目町会、株式会社ジェイアール東日本都市開発、 樺興産株式会社、社会医療法人河北医療財団、宗教法人神明宮、宗教法人世尊院、（専門家） 株式会社双葉、株式会社計画工房、杉並区 事務局：杉並区都市整備部市街地整備課拠点整備担当（委託先：株式会社計画工房）
議 題	次第 1. 開会 2. 出席者紹介 3. 挨拶 4. 報告事項 （1）前回議事録 5. 協議事項 （1）未来ビジョン「柱」の検討について （2）未来ビジョンの冊子イメージについて （3）今後の進め方について （4）その他 6. 閉会・挨拶
配布資料	次第、第 4 回議事要録、未来ビジョン骨子案と「柱」の検討、未来ビジョン冊子の構成イ メージ（案）、今後の進め方（案）、セッション第 9 回チラシ
報告事項	（1）議事録 ・事務局から、前回の議事録を確認した。 ・今回議事録の署名人を 2 名選んだ。 （2）前回の質疑に対する区の対応報告 ・帰宅困難者対策について、駅前滞留者対策連絡会の設置及び阿佐ヶ谷駅周辺エリア 防災計画を策定しており、一時滞在施設の情報提供等行っていることを報告する。 ・防災無線が聞きにくい件について、「防災行政無線電話応答サービス」、「防災・防犯 情報メール配信サービス」、「災害気象情報電話通報サービス」で対応していること を報告する。 ・杉並第一小学校移転後の新通学路について報告する。
協議事項	（1）未来ビジョン「柱」の検討について ・事務局（計画工房）より、配布資料をもとに、前回検討した柱 1 と柱 2 の修正案を 説明する。 ・柱 1 について、杉一小建て替えに伴う雨水貯留槽の提案（十分な容量かつ校庭を 周囲より低く整備）があり、例として松ノ木の野球グラウンドが挙げられた。 →（区回答）：教育委員会に共有しており、浸水対策として可能な限り対策を検討す る方針である。 ・柱 3～柱 6 について、取組の考え方と具体の取組案を説明し、意見交換を行った。以 下のような質疑や意見があった。 【柱 5 に関する主な意見】 ・電柱の地中化について、このエリアでは実施するのか。地中化によりまち並みが すっきりする一方、電柱があるから車がスピードを出さないという人がある。 →（区回答）：北東エリアでは電柱の地中化を実施する。また、このエリアは一部を 除き、道路整備により歩車分離されることから、安全性は確保される。 ・通りの名称について、区画道路 1 号などの名称では味気ないため、エリアにふさ わしい名称を検討してはどうか。

(2) 未来ビジョンの冊子イメージについて

- ・事務局（計画工房）より、配布資料をもとに、冊子 16 ページの構成や内容について説明し、意見交換を行う。以下のような意見があった。
- ・みんなに手に取って見てもらえるような冊子にしたい。
- ・ダイジェスト版をつくり、詳細はホームページで見られるようにしたい。

(3) 今年度の進め方について

- ・事務局から、配布資料をもとに、未来ビジョンは今年度中に作成すること、また、あさがやまちづくりセッションで意見を聴取することに加え、まちづくり通信による周知及び「すぎなみボイス」を活用した意見聴取を行う旨を説明する。

(4) その他

- ・事務局より、配布資料をもとに、セッション第 8 回（9/20・10/26）の開催と第 9 回（11/9）の開催案内について説明する。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2025 年（令和 7 年）10 月 27 日

議 長

議事録署名人

議事録署名人

あさがやまちづくりセッション 開催報告

●第8回 テーマ：杉並第一小学校移転後の跡地活用のアイデアを考えよう

日 時：【前半】令和7年9月20日（土）

【後半】令和7年10月26日（日）

場 所：阿佐谷地域区民センター 第1・2・3集会室

参加者数：【前半】40人

【後半】31人

当日の様様：



●第9回 テーマ：「未来ビジョン」の取組のアイデアを考えよう

日 時：令和7年11月9日（日）

場 所：区役所西棟6階第5・6会議室

参加者数：25人

当日の様様：



すぎなみボイス取組アイデア募集 意見集約

1. 募集の概要

- ・ 募集期間：令和 7 年 11 月 28 日（金）～12 月 26 日（金）
- ・ 募集テーマ：未来ビジョンの 6 つの柱に関する取組アイデア

2. 柱別の意見概要

柱 1：防災（1 件）

- ・ 協議の場としての震災救援所運営連絡会の活用提案。
- ・ 杉並第一小学校の備蓄・設備不足への指摘。

柱 2：安全・安心（1 件）

- ・ 落書き、路上喫煙、ゴミ出しルール違反への懸念。
- ・ 美化活動・取締り強化の提案。

柱 3：歴史・文化（1 件）

- ・ 阿佐ヶ谷文士村をシンボル化した展示スペースの設置提案。

柱 4：みどりと環境づくり（4 件）

- ・ 緑地や公園を増やす（例：樹冠被覆率 30%を目指すなど）。
- ・ 雨庭、水辺空間の提案。

柱 6：にぎわい（9 件）

- ・ 経済効果中心の「にぎわい」への懸念。阿佐ヶ谷の落ち着きを重視する意見。
- ・ 「にぎわい」の再定義を区民から募集すべきとの提案。
- ・ 子ども中心の多世代交流拠点（例：すぎなみこどもの城）の整備提案。

（計 16 件）

※いただいた意見を各柱別に振り分け直し、整理しています。

【参考】

投稿いただいた意見の詳細につきましては、右のリンク先からご覧いただけます。



反映箇所(赤字～追記部分／青字～修正部分)					寄せられた意見と対応方針		
柱		取組の方向性		取組案	主な意見	反映趣旨	備考（意見先）
1	防災	①	地震による都市大火への対策として、防災活動の拠点を形成し、エリア全体の連携を強化することで、防災機能を向上させる	・杉並第一小学校（震災救護所）や病院（東京都災害連携病院）、エリア内の民間施設などが連携する協議の場を設ける	・「既存の震災救護所連絡会」を協議の場として活用する	震災救護所とは、震度5強以上の地震発生時に、区立小中学校などに開設される避難・救護の拠点ですが、ここでは都市大火対策を検討する場としたため、それが分かるように取組の方向性に追記しました。	すぎなみボイス
2	安全・安心	①	歩行者や自転車利用者の安全性を確保し、安心して利用できる交通環境の整備に向けた取組を進める	・歩行者安全対策の検討	・歩道への違法駐車防止のため、ガードレールやポールなど設置	歩行者安全対策の視点が取組案に含まれていなかったため、追記しました。	あさがやまちづくりセッション（第9回）
		④	みんなが安全・安心に暮らせるよう、防犯面の取組を行う	・環境美化を通じた防犯対策の検討（例：ポイ捨ての抑制など）	・落書きや喫煙などのマナー対策など地域の治安維持など、安心して暮らせる環境づくり	対象エリア内では落書きは見かけない現状を踏まえ、喫煙のポイ捨て抑制を中心に取組案を追記しました。	すぎなみボイス
3	歴史・文化	①	エリアの特性を活かし、古道を歴史が感じられる空間として整備することで、エリアの魅力を向上させる	・区画道路2号、8号の整備方針を検討（例：舗装やマンホール、街路灯のデザインなど）	・デザインマンホール（なみすけ） 【昔の阿佐谷をなみすけを通じて知る】	マンホールデザインに関するご意見が複数あったため、古道整備の中で検討するよう取組案として追記しました。	あさがやまちづくりセッション（第9回）
					・昔のすぎなみの写真を印刷した地面のタイルやマンホール		
5	ウォークアブル	②	通りごとに特色があり、歩いて楽しい魅力的な空間づくりを検討する	・区画道路1～13号の空間イメージ（通りの名称など）を検討し、その実現に向けた具体策を推進	・いっそ道路の名前を古い名前に戻す 【道に名前をつける、道の名前は電柱に書いてある】	「歴史・文化」の意見を、ウォークアブルにも活かす形で追記しました。	
6	にぎわい	①	地域活動の拠点として、小学校跡地や既存施設を活用し、阿佐谷らしい文化的なにぎわいの創出を図る <修正前> 小学校跡地や地区内にある既存の施設の活用による阿佐谷らしい文化的な拠点づくりをめざす	・みどりや古道を活かしたイベントの企画や阿佐谷らしいエンタテインメントによる、賑わいの拠点づくり	・阿佐谷北東エリアの個性を活かした居場所が必要	ソフト事業を通じたにぎわいづくりの意図がより明確に伝わるよう、取組の方向性を修正しました。また、「商業施設のにぎわいを狙っているのか」といったご懸念に配慮し、地域コミュニティを中心としたにぎわい創出であることが分かる表現に整理しています。	すぎなみボイス
					・商業施設等ののにぎわいを狙っているのか心配		

※上記以外のご意見につきましても、来年度から取組案を具体化する際に、改めて参考にしたいと考えています。

ASAGAYA

FUTURE VISION BOOK

阿佐谷北東エリアまちづくり未来ビジョン

目次

P.01……将来像

P.03……未来ビジョン全体像

P.05……取組の柱

P.11……阿佐谷北東エリアまちづくり

P.13……ロードマップ

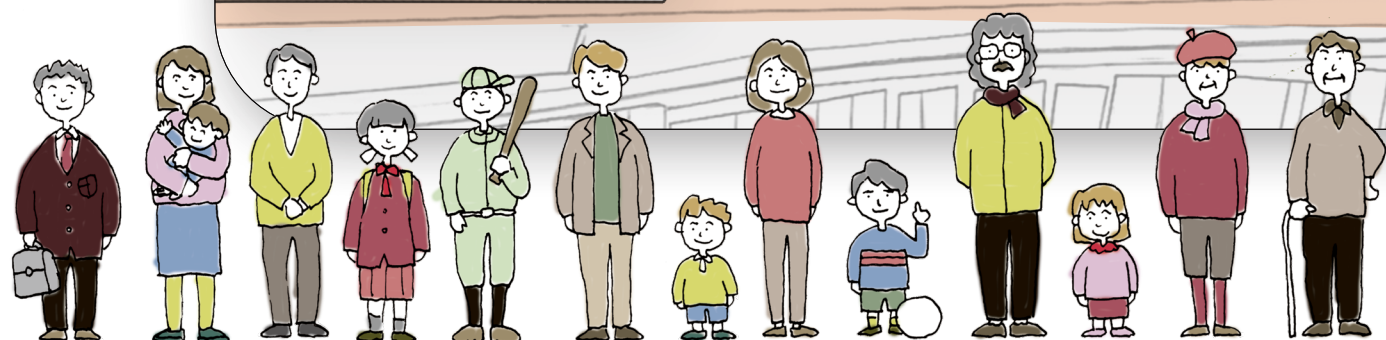


心豊かに暮らせる、

にぎわいのある魅力的なまち



※敷地①と敷地②の土地利用は未定



未来ビジョン全体像

未来ビジョンは、阿佐谷北東エリアに関わる私たちが、「こんなまちにしたい」という思いを描いたもので、みんなで未来をつくっていくための道しるべとなるものです。

そこで掲げた将来像を実現するために、このビジョンに共感する方々とつながり、力を合わせながら、より魅力的なエリアへと育てていきたいと考えています。



将来像●心豊かに暮らせる、にぎわいのある魅力的なまち

3つの基本方針

6つの取組の柱

1	災害に強い安全・安心なまち	1 防災	災害に強い防災活動拠点をつくる	P.5
		2 安全・安心	だれもが安全・安心に過ごせる安全・安心まちをつくる	P.6
2	みどり豊かな阿佐谷の歴史と文化が調和したまち	3 歴史・文化	地域の特性を活かした歴史が感じられるまちをつくる	P.7
		4 みどりと環境づくり	豊かなみどりを守り育み持続可能なまちをつくる	P.8
3	やすらぎのある人々が集うまち	5 ウォーカブル	快適でやさしさのある歩いて楽しいまちをつくる	P.9
		6 にぎわい	人々が交わりくつろぎにぎわう空間をつくる	P.10

1 防災

6つの取組の柱

エリアの特色と課題

- ① 木造住宅が多く、周辺の道路幅が狭いため、地震による都市大火を防ぐためには、エリアの**防災機能の強化**が求められる
- ② 災害発生時の一時避難地である馬橋公園へ通じる避難路（杉－馬橋公園通り）の幅員が狭い（約4.5m～6m）ため、**災害時の消防活動や避難が困難**になる恐れがある
- ③ 大雨によって洪水が発生した場合に**浸水が予想される区域**がある
- ④ 中杉通りは緊急輸送道路（災害時に緊急車両の通行を確保すべき道路）であるが、沿道には旧耐震基準で建てられた建築物、老朽化した横断歩道橋、路上駐車などがある

災害に強い防災活動拠点をつくる

4

災害時に、避難・救助・物資の輸送など円滑に行えるように、緊急輸送道路の安全性を確保する

→ 中杉通りにおける安全対策の検討

など

→ 浸水対策を広域的に検討

→ 基準値以上の貯水槽などの設置

→ 雨水流出対策

など

2

防災情報を地域で共有する手法や自助共助による防災活動を展開する



→ 当エリアを含めた周辺地区と馬橋公園（災害時一時避難地）との関係を考慮した地区防災計画の策定を検討

→ 地区町会連合会主催の防災訓練との連携

→ 初期消火対策の検討（例：スタンドパイプ設置と訓練、防災マップなど）

→ 防災に関する勉強会の開催

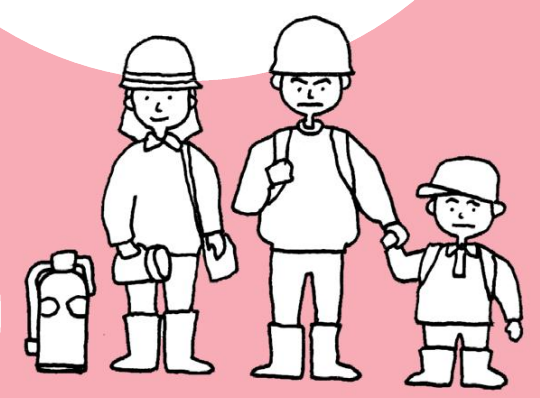
など

1

地震による都市大火への対策として、防災活動の拠点を形成し、エリア全体の連携を強化することで防災機能を向上させる

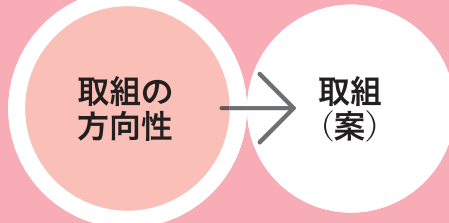
→ 杉並第一小学校（震災救護所）や病院（東京都災害連携病院）とエリア内の民間施設などが連携する協議の場を設ける

など



3

ハザードマップの浸水予想区域における具体的な水害対策を検討する

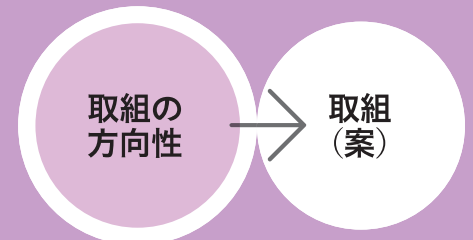


2 安全・安心

6つの取組の柱

エリアの特色と課題

- ① 中杉通りの歩道では、**歩行者と自転車の錯綜**が課題となっているほか、エリア内の道路整備・拡幅が進むことにより、**路上駐車や路上駐輪**など新たな課題が発生する恐れがある
- ② 小学校の児童や総合病院の利用者が**安心して歩ける歩行環境の整備**が求められており、特に新進会商店街通りの東端交差点は、歩行者や自転車、車が混在しやすく安全対策が喫緊の課題である
- ③ 歩道状空地の各所有者が各々整備するのではなく、エリア全体で**整備方針や共通ルール**を設け、統一的な整備が必要
- ④ 夜間の商店街や人通りが少ないエリアなど照明が不十分で、人目の届かない場所には**防犯面での対策**が必要



だれもが安全・安心に過ごせるまちをつくる

3

エリア内の歩道状空地の整備のあり方や管理に関する共通ルールを検討し、安全性の向上を図る

→ 歩道状空地などの舗装デザインの検討

→ 維持管理・修繕方法の検討

など

→ まちの防犯診断と対策の検討（例：夜間の照明、防犯カメラ設置、公園の見守りなど）

→ 環境美化を通じた防犯対策の検討（例：ポイ捨ての抑制など）

など



2

通学する児童や病院の利用者など誰もが、**安心・安全に通行できる交通ルール**を整備する

→ 当エリア内の車の最高制限速度を20km/hにする

→ 新進会商店街の東端交差点の安全対策の検討（例：交通量の実態調査等）

など

1

歩行者や自転車利用者の安全性を確保し、安心して利用できる交通環境の整備に向けた取組を進める

→ 中杉通りのパーキングメーター代替駐車場を設置

→ 杉並区自転車活用推進計画の自転車ネットワーク路線に準ずる整備の検討

→ 路上駐車や路上駐輪の対策の検討

→ 歩行者安全対策の検討

など

3 歴史・文化

6つの取組の柱

エリアの特色と課題

- ① 行政機関等が集約した南阿佐ヶ谷駅周辺に対し、当エリアは、社寺地、病院、学校など生活文化施設が多い。これらの**エリア特性を活かし、魅力をさらに高める**ことが求められている
- ② 150周年を迎えた杉並第一小学校や発掘された埋蔵文化財、古道の存在、駅至近に多く残されたみどりなど、**地域の歴史や文化を周知し、次世代に継承**していくことが必要
- ③ エリア外からの訪問者に対しても地域の歴史や文化に関して**積極的に情報発信し、知る機会を充実**させることが必要

地域の特性を活かした歴史が感じられるまちをつくる



1

エリアの特性を活かし、古道を歴史が感じられる空間とし整備することで、エリアの魅力を向上させる

- 区画道路2号、8号の整備方針を検討（例：舗装やマンホール、街路灯のデザインなど）
- 古道など周辺環境の景観に調和する周辺環境等のデザイン誘導

など

2

地域に対する愛着をより深めるために、地域の歴史や文化を次世代に伝える場づくりを推進する

- 展示内容の企画（例：エリア内の敷地から出土した埋蔵文化財、中杉通り開通の歴史など）
- 展示場所の検討
- 資料等のアーカイブ化
- 写真展などの開催と資料収取

など

3

歴史散歩を通じて、楽しみながらエリアの魅力を再発見、共有する機会を創出する

- 歴史情報に触れられる2次元コードなどの設置
- 地図や冊子の作成（例：お散歩マップなど）

など

取組の方向性

取組(案)



4 みどりと環境づくり

6つの取組の柱

エリアの特色と課題

- ① 中杉通りのけやき並木や社寺地等のみどりを活かした**みどりのネットワーク化を進め**、駅前でありながら**快適で潤いのある環境の向上**が求められている
- ② 保全した屋敷林の地域への開放やポケットパークの設置など、**みどりの適切な保全や維持管理、活用方法を検討し**、地域で共有する必要がある
- ③ **グリーンインフラの推進**により、公共空間・公共的空間に自然を取り入れ、みどりと調和した持続可能で魅力ある地域づくりを進めることが求められている



豊かなみどりを守り育み持続可能なまちをつくる

1

みどりのネットワークを広げ、夏の暑さを緩和するクールスポットを増やし、快適で良好な生活環境を創出する

- 緑地の保全や沿道緑化の推進
- 屋上や壁面の緑化
- 屋敷林やみどりに関する勉強会や情報提供

など

2

緑化方針を策定し、地域の方々と協力し維持管理を行い、地域に愛されるみどりを育む

- エリアの緑化方針の策定を検討
- 維持管理の組織化
- 資金の募金
- イベントの開催

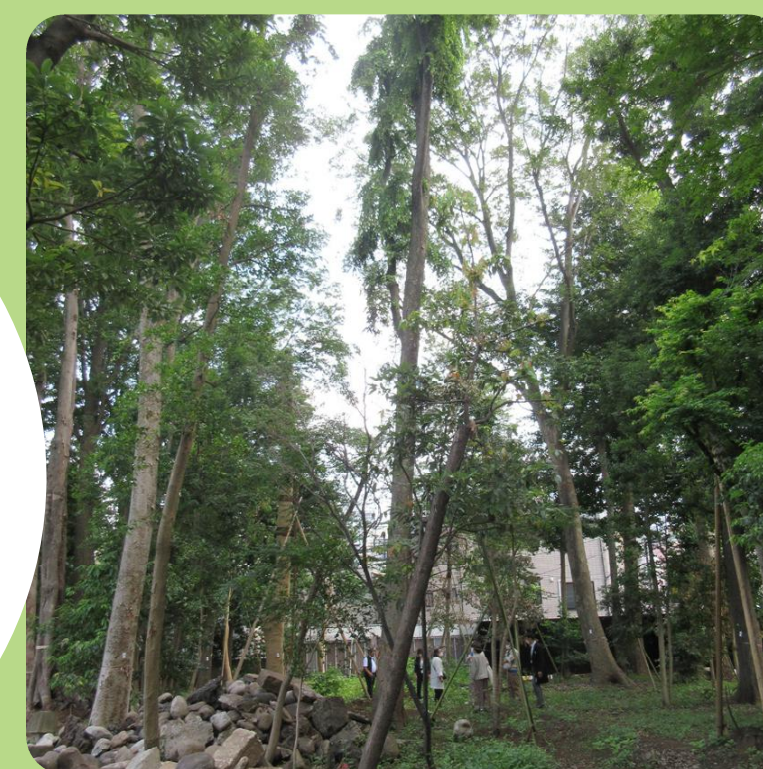
など

3

道路や歩道状空地、沿道緑地などの公共的空間にグリーンインフラを導入し、自然と共生する

- 雨庭の整備を検討
- 保水効果を高める舗装の導入
- 緑地に低木を植樹

など



取組の方向性

取組(案)

5 ウォーカブル

6つの取組の柱

エリアの特色と課題

- 1 歩行者が安全かつ快適に移動できるよう、歩道環境の整備を進めるとともに、エリアの魅力を感じられるまち全体の美観を維持向上させる工夫が必要
- 2 公共空間・公共的空間において、それぞれの通りの特性を活かした魅力的な空間のあり方を検討し、歩いて楽しいまちとするとともに、私有地における利用マナーの普及を図る必要がある
- 3 高齢者や障がい者、子育て世代など誰もが安全かつ快適に歩けるまちづくりを進めるため、ユニバーサルデザインに基づくサイン計画を導入するなど、直感的に情報を得られる環境の整備が求められている
- 4 子どもが安全に遊べる場所や地域住民の交流・つながりを促進する地域のコミュニティを活性化させる居場所の創出が求められている

快適でやさしさのある歩いて楽しいまちをつくる



- 電柱の地中化に伴う、地上機器や交通標識の設置方法の検討
- 清掃活動
- 仮囲いのアートイベントなど

交通環境や都市風景を整え、歩行者が安全・快適に移動できる空間を創出する

- 区画道路1～13号の空間イメージ（通りの名称など）を検討し、その実現に向けた具体策を推進
- 車両の通行を抑え、商店街や古道を歩行者優先の道路とする検討

通りごとに特色があり、歩いて楽しい魅力的な空間づくりを検討する

- 歩行者同士の自然な交流が生まれる居場所をつくり、互いに支えあい住みやすい環境を形成する

- 子どもの居場所づくり（例：夏は木陰となり、冬はひだまりとなるポケットパークの検討）
- 高齢者や病気、障害をもつ方も利用しやすい居場所づくり（例：道路沿いにベンチ等の休憩所を設置）

など

バリアフリー、ユニバーサルデザインを導入し、誰もが安心して歩ける、優しいまちを目指す

- バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりルールを検討
- 案内や情報をわかりやすく伝えるサインや看板などを検討

など

取組の方向性

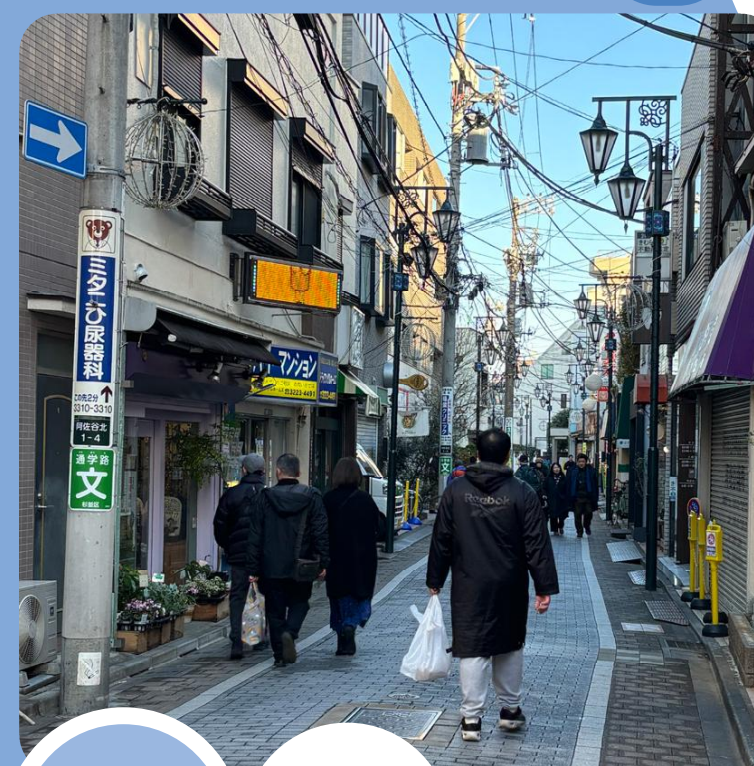
取組（案）

6 にぎわい

6つの取組の柱

エリアの特色と課題

- 1 駅に近く人の往来が多い当エリアにおいて、阿佐谷らしい文化的なにぎわいを育む地域活動の拠点として、人々が集い交流できるイベント等を展開していくことが必要
- 2 人々が自然に集い、買い物や病院を訪れる人々にとっても居心地の良い滞留空間を創出することが求められている
- 3 商店街や鉄道事業者等と連携し、エリアのにぎわいや回遊性向上を図ることが求められている
- 4 歴史と伝統のある阿佐谷の行事と連携し、エリアの魅力をより広く発信することが求められている



取組の方向性

取組（案）

人々が交わりくつろぎにぎわう空間をつくる

- みどりや古道を活かしたイベントの企画
- 阿佐谷らしいエンタテインメントによる、にぎわいの拠点づくり

など

地域活動の拠点として、小学校跡地や既存施設を活用し、阿佐谷らしい文化的なにぎわいの創出を図る

エリア全体に多様な滞留空間を設け、くつろぎのにぎわいが調和する空間を創出する

- ベンチや小さな休憩スペース、キッチンカーなど多様な規模やスタイルの滞留空間を設置
- 滞留空間にみどりの景観を取り入れる方法を検討

など

商店街とその周辺の利便性や回遊性の向上を図り、みんなが楽しめる柔軟なまちづくりを実現する

- 楽しく回遊できる魅力的なお店や通りの演出などの検討
- 商店街や周辺の回遊性向上につながる検討（例：社会実験等の実施など）

など

- 地域の文化的行事をエリア内に広く展開する方法の検討
- 地域の既存イベントへの参加や独自のイベントの検討

など

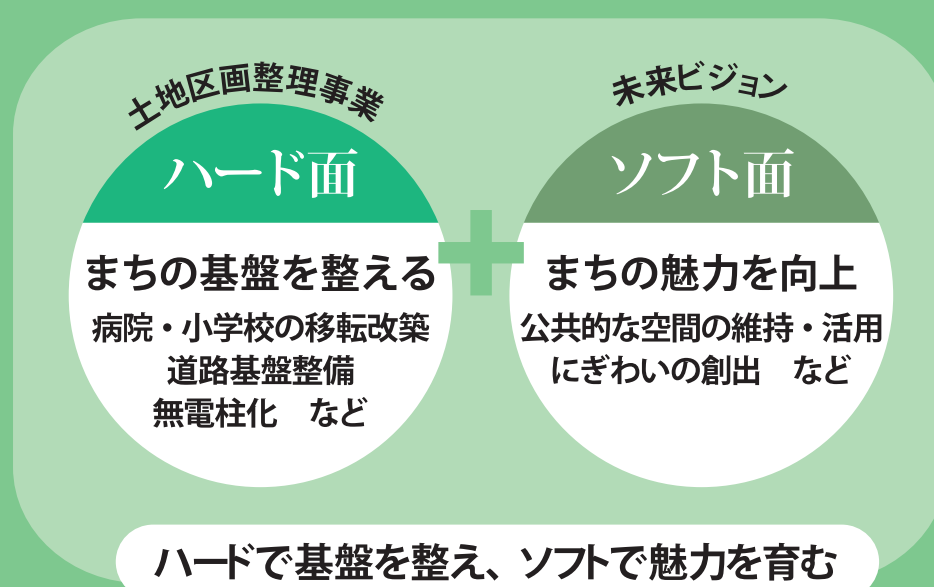
エリア内の伝統行事に加え、阿佐谷の既存イベントとも連携・協働し、地域の魅力を発信する

阿 佐 谷 北 東 エ リ ア ま ち づ く り

阿佐谷北東エリアは、阿佐ヶ谷駅至近に住宅地や商店街、医療機関が集まる生活圏であるとともに、小学校や神社仏閣などの文化的施設が点在する、暮らしと地域活動が密接に関わるエリアです。

現在、このエリアでは、地区計画に加えて、病院や小学校の移転改築、道路基盤整備など、ハード面の事業（土地区画整理事業）が進行しています。

新たな敷地や公共的な空間が生まれる一方で、まちの魅力をさらに高めるためには、そうした空間を大切に使用

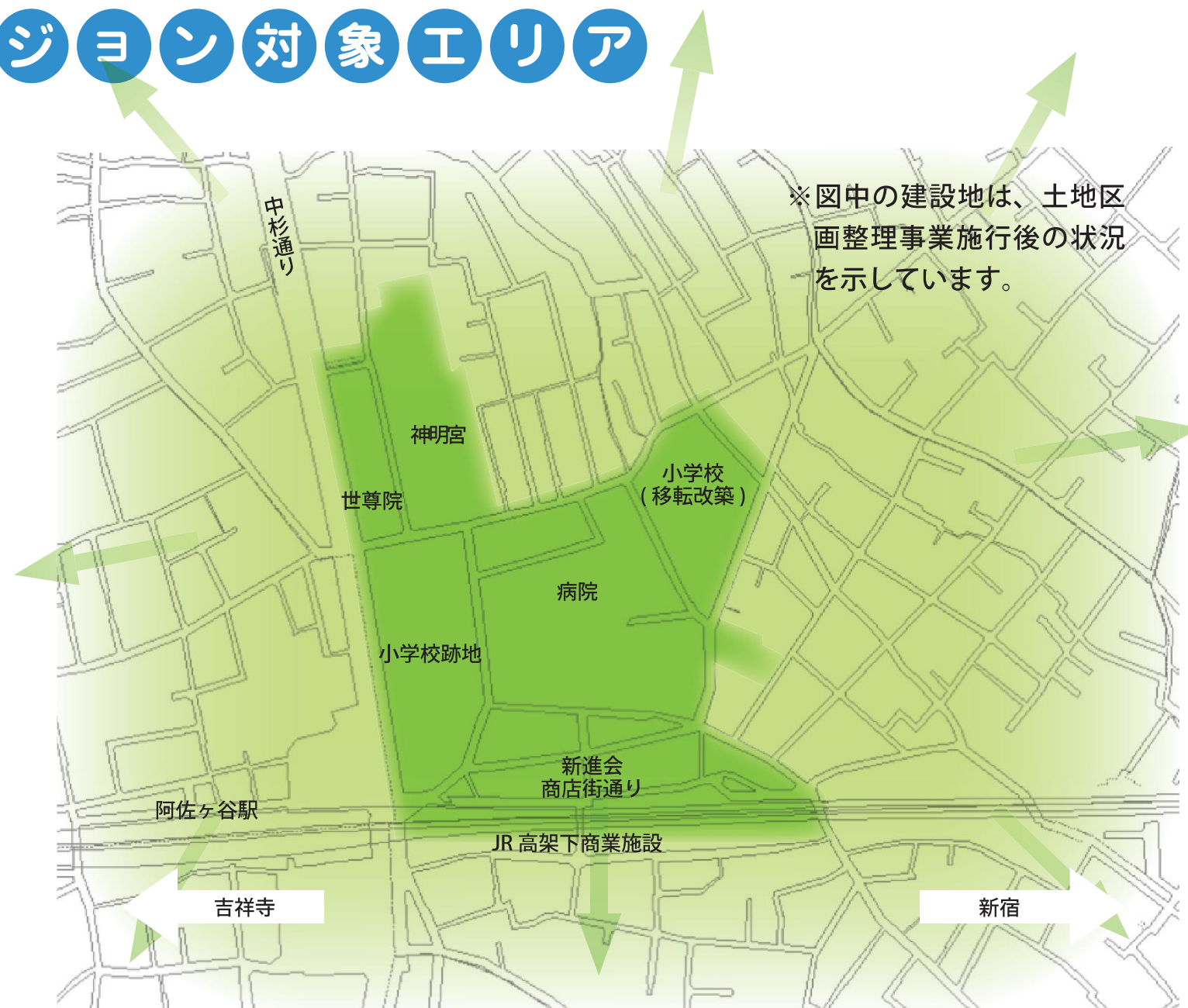


い、生かしていく取組や、にぎわいを生み出すソフト面の活動を、地域の皆様が主体となって進めていくことが重要です。行政は、その取組が円滑に進むよう、関係組織と連携しながら、制度の活用など必要な支援を行っていきます。

このように阿佐谷北東エリアでは、地域の皆様の主体的な活動を、行政が必要に応じて支え、共に進める公民連携によるまちづくりを進めています。未来ビジョンは、こうした地域主体で進めるソフト面の取組をまとめたものです。

未来ビジョン対象エリア

事業の進捗に合わせて隣接するエリアと連携しながら展開し、対象エリアも順次拡大しながら、地域全体の発展を図っていきます。



阿 佐 谷 北 東 エ リ ア ま ち づ く り 協 議 会

阿佐谷北東エリアまちづくり協議会（エリアプラットフォーム）とは、このエリアに関わる多様な主体が連携し、エリアの将来を共に考え活動していくために、協議・調整を行うための場です。

阿佐谷北東エリアでは、「阿佐谷北東エリアまちづくり協議会」を立ち上げ、この未来ビジョンを作成しました。

- 阿佐谷北一丁目町会
- 阿佐谷新進会商店街振興組合
- 樺興産株式会社
- 株式会社 三杉
- 宗教法人 神明宮
- 宗教法人 世尊院
- 社会医療法人 河北医療財団
- 株式会社 ジェイアール東日本都市開発
- 株式会社 計画工房
- 株式会社 双葉
- 杉並区

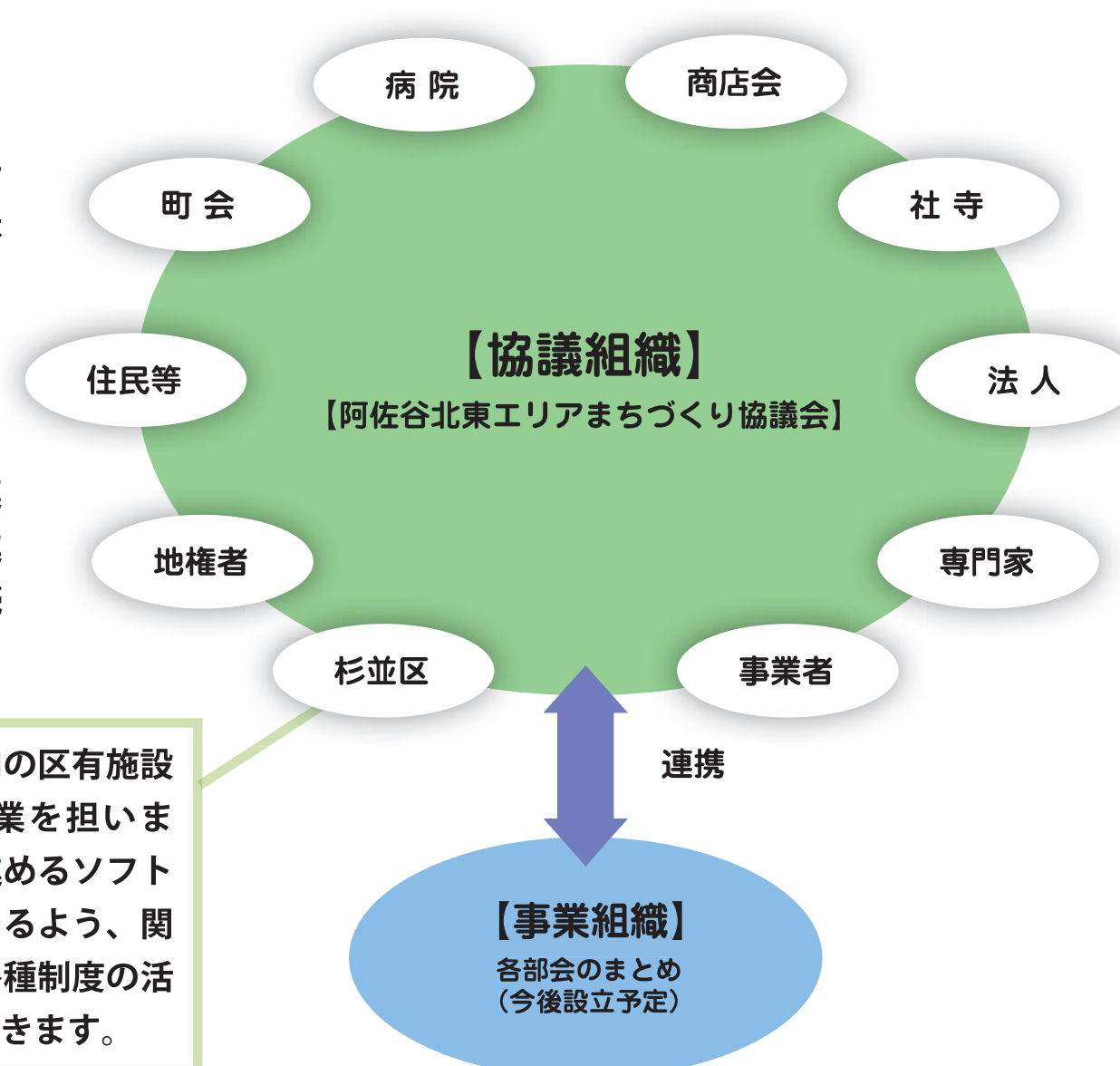
未来ビジョン作成までの経緯とこれまでの取組

2021.10 月	エリアプラットフォーム準備会 発足 (阿佐ヶ谷駅北東地区エリアマネジメント推進懇談会)
2021.10 ～ 2023.3 月	準備会 会議開催 計 7 回
2021.11 月	まち歩き～まちを知ろう、阿佐谷の歴史と古道について
2022.3 月	古道ワークショップ～歩行者中心の緑豊かな道づくり について意見交換
2023.2 月	写真展 第 1 回開催
2023.3 月	防災についての意見交換会
2023.8 月	仮囲いアート「木と石ころ」
2023.11 月	写真展 第 2 回開催
2024.10 月	業者選定プロポーザル（未来ビジョン策定業務委託）
2025.2 月	「阿佐谷北東エリアまちづくり協議会」 発足
2025.2 ～ 2026.3 月	協議会 会議開催 計 7 回
2025.5 月	未来ビジョンの骨子案についてワークショップ (あさがやまちづくりセッション第 6 回)
2025.11 月	未来ビジョンの取組のアイデアについてワークショップ (あさがやまちづくりセッション第 9 回)
2025.11 ～ 12 月	未来ビジョンの取組のアイデアについて意見募集 (すぎなみボイス)
2026.2 月	未来ビジョンの素案について意見募集 (あさがやまちづくりセッション第 10 回・すぎなみボイス)
2026.3 月	未来ビジョン完成

組織体制

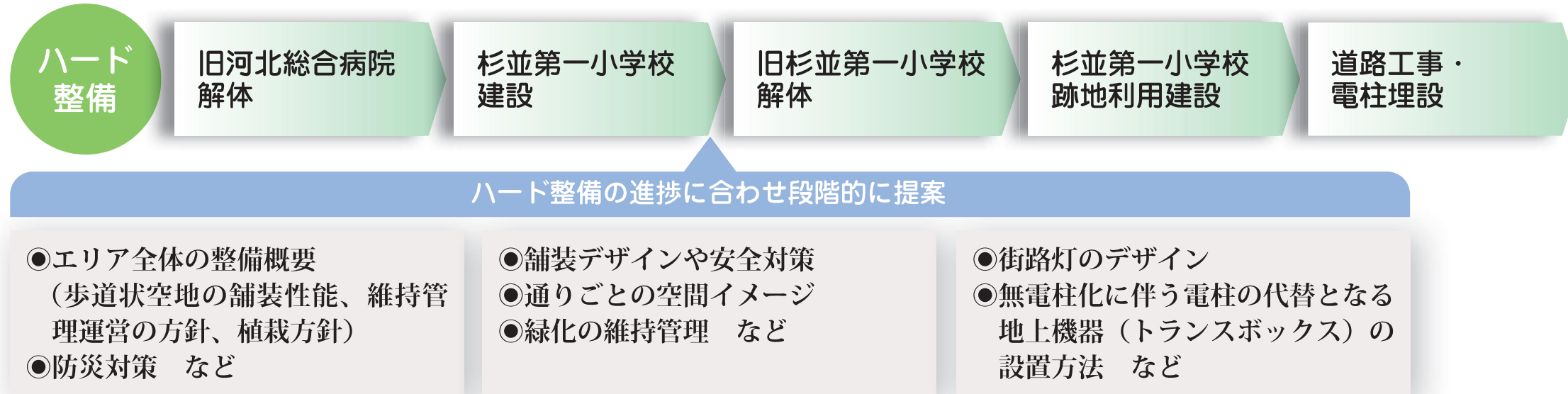
- ・協議会は対象エリアの拡大に合わせて活動の輪を広げるとともに、具体的な取組を進めるための実行組織を立ち上げ、各取組を実施する部会を設けていく予定です
- ・将来的には、協議会と実行組織が連携し、両輪となってまちづくりを進めることで、自立・自走できる持続可能なまちづくりを目指します

- ・杉並区は、エリア内の区有施設などハード面の事業を担います。また、地域で進めるソフト面の取組が実現できるよう、関係組織と連携し、各種制度の活用をサポートしていきます。

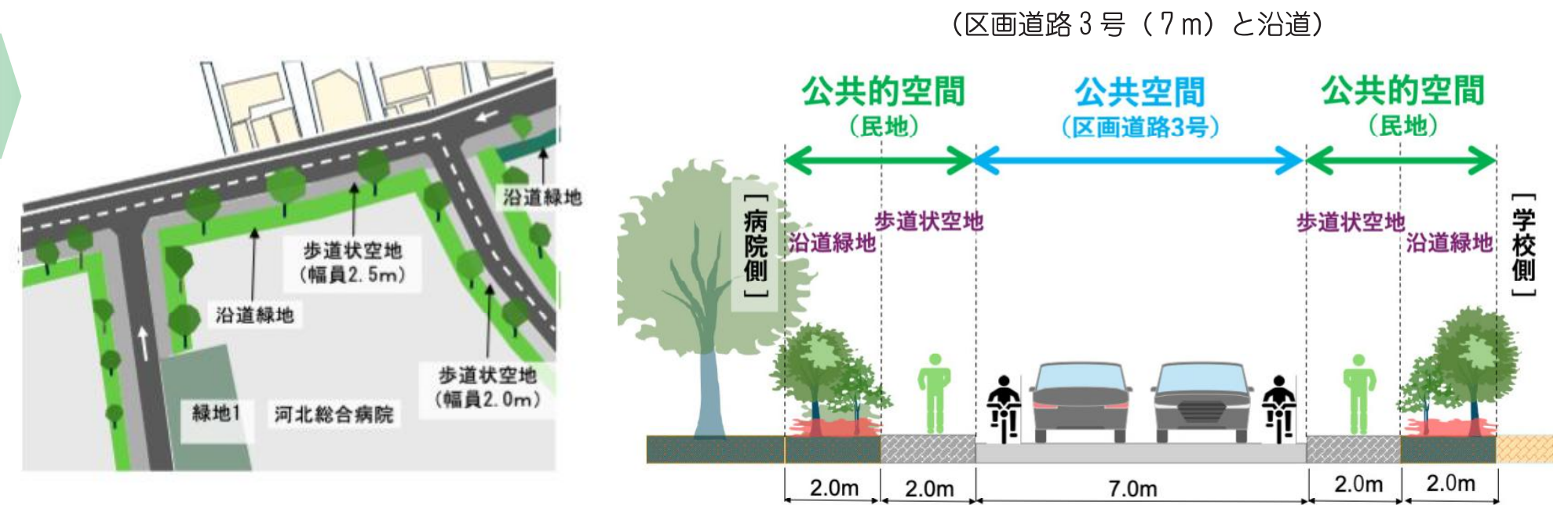


A ハード整備への提案

本エリアのまちづくりの方向性について検討し、ハード整備の進捗に合わせて、段階的に提案をしていきます



【区画道路沿道の歩道状空地と沿道緑地のイメージ】



B 取組の柱ごとの活動イメージ

【短中期での取組を検討】

ハード整備への提案後、各柱ごとに連携しながら、タイミングを図り具体化を検討していきます

柱1 防災

提案#1
防災対策検討後

防災協議組織形成 → 防災活動拠点づくり → 地区防災計画等の検討



課題を共有するワークショップ

→ 地域意見聴取・防災訓練 → 地区防災計画等計画の見直し・修正

柱2 安全・安心

提案#1
歩道状空地の舗装性能等検討後
歩道状空地利用等ルールを検討

→ 警察・消防との協定 → 利用者への周知活動・清掃等維持管理 → 歩行者安全対策の検討・路上駐車や路上駐輪の対策の検討

柱3 歴史・文化

写真展等開催



→ 地域の歴史調査

地域の歴史を次世代に伝える場づくり

→ お散歩マップ・二次元コードの設置 → 歴史展示場検討 → 展示場所の確保・企画・運営

柱4 みどり・環境

緑化方針の検討

→ 緑地の活用の検討 →

提案#2
緑化の維持管理検討後
維持管理の組織の検討

森の妖精

「森の妖精」をテーマにしたデザインを公募し、制作した作品を緑地に展示して、森の魅力を楽しんでもらうイベント。工夫や改良を重ね、地域ならではの恒例イベントとして育てていく。

地域のみどり環境の勉強会



柱5 ウォーカブル

提案#2
通りごとの空間イメージ検討後
特徴のある通りの検討（通りの名称など） → 古道などの整備の検討 →

道環境を話し合うワークショップ



都市風景を整える仮囲いアートイベント

ポケットパークの検討

柱6 にぎわい

みどりや古道を活かしたイベントの企画 → 阿佐谷らしいエンティメント活動の検討 → 既存イベントの盛り上げ

地元のイベントを盛り上げる



※参考として、これまでの活動事例の写真を掲載しています

阿佐谷北東エリアまちづくり未来ビジョン

(2026年3月発行)

発行：阿佐谷北東エリアまちづくり協議会

制作：株式会社計画工房（デザイン 森 一典）

（お問い合わせ）

杉並区都市整備部 市街地整備課 拠点整備担当

03-3312-2111

(2)今後の進め方について

配布資料5

<令和7年度>

未来ビジョン
検討

柱1～柱6／ロードマップ／組織体制

未来ビジョン
(素案)

未来ビジョン
(完成)

阿佐谷北東エリア
まちづくり協議会

第3回 4/30
第4回 (8/27)
(5回開催)

第5回
(10/27)

第6回
(1/27)

第7回
(3/24)
(3/25)
(3/27)

阿佐谷まちづくり
セッション

第6回

5/18(日)

内容:未来ビジョンの
柱について

第9回

11/9(日)

内容:未来ビジョンの
取組のアイデアについて

第10回
2/1(日)
2/2(月)

意見
聴取

内容:未来ビジョンの
素案について

第7回

7/27(日)

テーマ:小学4～6年生による
阿佐谷のまちの逃げ地図作成

第8回

前半:9/20(土)・後半:10/26(日)

テーマ:杉ー小学校移転後の跡地活用の
アイデアを考えよう

まちづくり通信

すぎなみボイス

1号:11月発行

2号:1月発行

12月実施

2月実施